えんぽとたんぽの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報　第163号	２０１５年2月２３日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠

１．活動報告（　事務局　記）

―２月１日(日)１２名の参加でしたが､遠く周南市福川の大野会員が来てくださいました。

①　田辺商会さんより散策橋土台の切り石を軽トラック２台分頂き運搬しました。

②　竹林生態系観察のための予備調査で孟宗竹の切り出しをし､これを利用し蓮池の淵周りのシガラ修復をしました。

―２月６日(金)山大工学部にて親子自然観察隊の今年の計画について打合わせをしました。出席者は関根、鈴木、原谷、原田「満」、前田、中本、岡村、寺本、管会員でした。

―２月１５日（日）活動準備として、切り石とＵ字溝５個を湿地帯の修復場所に運搬し、他竹シガラ用竹杭を製作しました。吉富・原田マ会員で行いました。

―２月２１日（土）参加者は１３名でした。

河内会員による特定外来植物に関する焼却処分時の搬送基準について講話があり勉強をしました。

修復作業は

①草原ゾーンの川排水部散策道修復

②湿地帯散策橋の腐食部のＵ字溝と切り石にて修復（５ｍ）

③ため池ゾーンのシガラ修復の為、竹材準備仮置き中

２．今後の予定（　事務局　記）

◎見学者

◎行　事

―３月１日（日）維持活動　（エコアップ、修復工事）

―３月２１日（土）維持活動（エコアップ、修復作業）

３．来訪者の声

今月はありません。

４．会員の声【　事務局の業務　】　（　原谷　一誠　記）

会が発足してから、もう１５年目です。今の事務局長も１３年目を迎えて、もうそろそろ交代して欲しいと言われています。何でも相談は事務局長では、身が持ちません。そこで、２００９年でも相談しましたが、事務局の業務は何があって、事務局長だけではなく、事務局というグループを組織して、業務を分担してはどうかという意見もあります。では事務局が今行っている業務について考えてみました。

１．維持活動：草刈り（燃料・替刃の手配）、補修（材料・工具の手配）、休憩時の飲料・菓子の手配、水の管理、臨時的な作業の伝達・調整、突発的な不具合への対応など
２．エコアップ：どの場所で何を対象にどのようにするのか
３．イベント（稲作体験など）：田んぼの管理（肥料・トラクターの手配）、田植え（代掻き・苗の手配）、除草・イナゴ駆除、稲刈り（ハゼ掛け・脱穀・精米の手配）、餅つき（洗米・道具・テント張りの準備、後片付け）、会員交流会（夏と冬（忘年会）の準備・報告）
４．ハス・シイタケ：ハス田管理・レンコン堀、シイタケ原木の管理・収穫
５．観察隊：現在は計画・募集・補助金申請・実施・報告は別グループにて行っている
６．広報：会報（記事・写真の編集、印刷・配布）、ＨＰ（作成・更新）、案内ポスター（作成・配布）
７．会の運営：連絡網（電話・メールでの連絡事項）、傷害保険（契約と傷害・保険工数の対応）、総会（会場準備、配布資料作成）、ふれあいセンターを使用する場合の予約
８．会計：会費の徴収、入出金管理、支払いの立替、会計の報告
９．外部対応：補助金（申請・報告）、外部からの手紙・メール（連絡網への要否、回答作成など対応）、外部の講演・イベント案内（伝達と調整）、外部の講演依頼（受理の要否、講師手配、会員出席依頼）、外部の見学依頼（案内人手配、時間調整）

ざっと見てみても多くの業務があり、とても一人で行うには無理があると思います。ただ、地元の二俣瀬の人の方が、早い対応が出来るものもあり、事務局を数人のグループで行うにも、制限もあるかと思います。皆さんで知恵を出し合って、総会で話し合って、会が円滑に進めるよう考えて下さい。

５．ビオトープ関連：「山口県のトンボたち」　　（　管　哲郎　記）

(26) オオルリボシヤンマ　*Aeshna nigroflava*　MARUTIN

ヤンマ科　Aeshnidae ＜ルリボシヤンマ属＞　*Aeshna* Fabricius

このヤンマも皆さんには殆どなじみのないトンボだと思います。筆者も県内を必死で探しているのですが、いまだに出会えません。過去の記録には宇部市の霜降山山頂付近での記録がありますので（故　原隆氏）、今回取り上げました。筆者は霜降山山頂付近で、ルリボシヤンマを1♂採集していますが、本種はいまだ未確認です。

広島県芸北の八幡湿原では８月～１０月ごろになると毎年普通に見られます、しかし採集は禁じられていますので要注意です。

日本特産種で、北海道～九州地方まで見られますが、ルリボシヤンマと違って寒冷地を好むようで、中国地方であれば標高の高い植生豊かな池に生息します。山口県内ではそのような条件のため池のある場所が見つからず、探すのに苦労しています。

オスの飛翔はため池や湿原の上空数メートル～１０メートルのところをゆうゆうと大きな弧を描くように飛んでいます、ルリボシヤンマに比べ採集するには少々難しいようです。

メスは池の中の水草の茎に単独でつかまり産卵します。体型や体色がルリボシヤンマのメスにそっくりですので判定が難しいのですが、体の模様が少し違うので慣れると見分けがつくようになります。

♀の休止

♂の休止

♀の産卵

６．会よりの連絡事項

1）親子自然観察隊の隊員を宇部日報・サンデー宇部・宇部市広報等で募集しています。合わせてつくる会の会員も募集したく思いますので口コミで現会員の皆様にお願いいたします。

２）親子自然観察隊を独立活動組織に変更する手配中です。２７年度総会において親子自然観察隊の規約改正やビオトープをつくる会の規約改正が生じてきました。今までの「つくる会のしおり」等をよく把握して意見を述べてください。

７．編集後記

皆様お元気でしょうか？最近、仕事もですが両親も高齢となり病等で介護が必要になり、以前より慌ただしい日々が続いています。

先日は家庭でも体調を崩すものが出て、母の介護で知り合ったケアマネージャーさんと、「これだけ忙しいと笑うしかないですね」と話したばかりです。

会員の皆様も体調管理に注意して頑張って下さい。

（　若林　正治　記　）